

総合健診用 オプション検査一覧

※当日受付時追加可能

検査項目	検査対象	料金
血液検査	腫瘍マーカー	肺がん (CEA CYFRA ProGRP) 5,550円 肝臓がん (AFP PIVKA-2) 2,980円 膵臓、胆道がん (CA19-9 DUPAN-2) 2,670円 前立腺がん (PSA) 2,050円 卵巣、子宮がん (CA125 SCC) 2,670円 消化器系セットマーカー (大腸・胃・膵臓・胆道・肝臓) (CEA AFP CA19-9) 3,600円 男性セットマーカーA (大腸・肺・胃・膵臓・胆道・肝臓・前立腺) (CEA AFP CA19-9 CYFRA PSA) 7,300円 男性セットマーカーB (男性セットマーカーA+食道) (CEA AFP CA19-9 CYFRA PSA p53抗体) 9,250円 女性セットマーカーA (大腸・肺・胃・膵臓・胆道・肝臓・卵巣子宮) (CEA AFP CA19-9 CYFRA CA125) 7,300円 女性セットマーカーB (女性セットマーカーA+食道) (CEA AFP CA19-9 CYFRA CA125 p53抗体) 9,250円
	心臓病検査	慢性心不全バイオマーカー (NT-ProBNP) 2,160円
	肝炎ウィルス検査	B+C型肝炎 (HBs抗原・HBs抗体・HCV抗体) 2,580円
		B型肝炎 (HBs抗原・HBs抗体) 1,480円
		C型肝炎 (HCV抗体) 2,020円
	ペプシノーゲン	2,050円
	ヘリコバクターピロリ抗体検査	1,540円
	胃がんリスク層別化検査 (ABC分類)	★詳細は右ページを参照 4,320円
	甲状腺機能検査	2,460円

血液検査



オススメ
お得な
セット



低線量CT検査	肺がんCT	9,720円
---------	-------	--------

超音波検査	腹部超音波検査(胆のう・肝臓・腎臓・膵臓・脾臓) ※注	5,720円
	骨密度検査	1,020円

※注：食事をしてきた場合は実施できません。



オススメ
お得な
セット



眼圧検査	770円
内臓脂肪測定検査	2,050円
頸動脈エコー検査	3,600円
血圧脈波検査	2,160円
動脈硬化検査セット (頸動脈エコー+血圧脈波検査)	4,930円

要予約 TEL (0144)35-0081

婦人科検診 ★木曜日 (AM 健康診断 / PM 婦人科) の実施となります。 ご希望の方は事前にお電話下さい。	乳がん検診(マンモグラフィ 2方向)	6,780円
	乳がん検診(超音波)	5,550円
	子宮がん検診(内診+頸部細胞診)	2,560円

※加入されている団体または健康保険組合の契約内容によっては、健診に含まれている場合があります。

※結果は団体(事業所・健保等)への報告に含まれます。

各種オプション検査内容

◆腫瘍マーカー (がん反応)

腫瘍マーカーとは悪性腫瘍の際に上昇する血液中の成分で腫瘍の存在、種類、進行度の推定に役立ちますが、正常組織でも作られており、癌に特異的とは限りません。陽性＝がん ということでも無く、陰性＝がんで無いとも言えるものではありません。陽性であれば癌の疑いがあるので、「二次検査を受けた方が良い」と理解して下さい。

腫瘍マーカー	検査内容
CEA	消化器系の腫瘍を中心に用いられるが、広範囲の癌で上昇。大腸癌、肺癌、胃癌、胆道癌等で有用。常習喫煙者でも上昇。
AFP	肝細胞癌に特異性が高い。ウイルス肝炎、肝硬変でも陽性となるが、悪性化の経過観察に有用。妊娠後期でも上昇。
CA19-9	膵臓癌に特異性が高いが胆道癌にも有用。膵炎、胆石、卵巣のう腫等の良性疾患でも上昇。
DUPAN-2	膵癌、肝胆道癌に有用。肝臓、膵臓等の良性肝疾患でも上昇。
CYFRA	肺癌 特に扁平上皮癌で上昇。良性の呼吸器疾患でも上昇。
PIVKA- II	肝細胞癌で上昇するが、AFP とは相関しない。AFP より感度は低いが特異性は高い。薬剤（ワーファリン）使用時に上昇。
ProGRP	肺癌（小細胞癌）に有用。CEA、CYFRA と併せて肺癌のふるい分けをするマーカーとして利用される。腎不全でも上昇。
PSA	臓器特異性が高く前立腺癌の早期発見に有用。前立腺肥大でも上昇。
CA125	卵巣癌、子宮体部癌に有用。子宮内膜症、卵巣のう腫等の良性疾患や妊娠でも上昇。
SCC	子宮頸癌のほか肺癌（扁平上皮癌）、食道癌に有用。
p53 抗体	主に癌細胞で起こっている癌抑制遺伝子（p53）の異常に対して作られる抗体。食道癌、大腸癌、乳癌等で上昇。臓器特異性は低い。

◆NT-proBNP 検査 (慢性心不全の バイオマーカー)

心臓の筋肉の伸展刺激や内圧上昇といった心臓に負担がかかっている時に分泌されるホルモンです。疲れやすい、動悸、息切れ、むくみといった症状のある方や虚血性心疾患、弁膜症、心筋症、不整脈のほか、高血圧、糖尿病等による”隠れ心不全”の発見に有用なバイオマーカーです。

◆ペプシノーゲン

胃粘膜の萎縮の程度、胃酸分泌機能や胃粘膜の炎症の程度を調べます。

◆ヘリコバクター ピロリ抗体検査

抗体陽性者で、胃・十二指腸潰瘍の既往のある方は除菌によって再発を予防できます。また、除菌によって胃がんの発生が抑えられると考えられています。我が国の感染率は、年齢とともに高くなり 40 歳以上で 50～80% といわれています。

◆胃がんリスク層別化検査 (ABC 分類)

ピロリ菌感染の有無を調べる「ヘリコバクター・ピロリ抗体検査」と胃炎の有無を調べる「ペプシノーゲン検査」を組み合わせ「胃潰瘍や胃がん等の胃の病気」の危険度を A 群＝低リスク群（感染なし、胃炎なし） B 群＝中リスク群（感染あり、胃炎なし） C 群＝高リスク群（感染あり、胃炎あり） E 群＝除菌群（ピロリ菌の除菌治療を受けた方）に分類するものです。

◆低線量肺がんCT

肺の横断面を細かく輪切りにして見ることで、より早期の段階で小さな病変を見つける事を目的としています。胸部 X 線では生じてしまう心臓の重なりなど、死角になる部分も描出されます。ご心配される X 線の被ばく量は、胃バリウム検査の 5 分の 1 程度と非常に少なくなっています。寝台に寝ていただき 15 秒程度の息止めを 2 回行っていただきます。安心して簡易に受けていただける検査です。

◆眼圧検査

緑内障やその傾向の有無を知ることができる検査です。

◆内臓脂肪測定検査

腹囲の測定だけでは内臓脂肪蓄積者を拾い上げるには不十分です。当センターの装置は脂肪の電気抵抗が内臓の実質臓器より大きい性質を利用し内臓脂肪面積を測定するもので短時間に精度良く測定が可能です。内臓脂肪型肥満を基盤にして主々の生活習慣病や動脈硬化性心血管病が発症することが分かっており注意が必要です。

※ペースメーカー挿入者・妊娠中の方は検査出来ません。

※腹囲 120cm 以上、65cm 以下の方は検査出来ません。

◆頸動脈エコー検査

頸動脈は太い血管ですが、体表面から浅い所にあり観察し易いため、頸部に超音波探触子を当て血管の肥厚や動脈硬化性隆起物の有無を調べます。簡便かつ視覚的に血管の状態を診る事が出来ます。頸動脈はアテローム性動脈硬化の好発部位で血管壁肥厚度は脳血管疾患や虚血性疾患との関係も深く、検査により生活習慣病における全身の動脈硬化の進展度を評価できるため早めの治療や生活習慣病の修正につなげる事が出来ます。

※予約状況により午後からになる場合もありますのでご了承ください。

◆血圧脈波検査

①動脈の硬さ ②血管年齢 ③下肢血管の狭窄（詰まり）の3つを測定します。ベット上に横になり両手首・足首に血圧のカフを巻き心音マイクと心電図電極を付け約 10 分で検査出来ます。当センターでは心臓から足首までの平均的な動脈の伸展性（硬さ）を血圧の影響を受け難いとされる CAVI（心臓足首血管指数）を指標とする機種を使用しています。測定値を同性・同年齢の平均値と比較することによっておおよその相当年齢を求める事が出来ます。また上腕の血圧と足首の血圧の比から下肢動脈の狭窄（詰まり）を知ることが出来ます。

※透析を受けられている方・乳がんの手術を受けられている方は、受付の際にお申し出ください。

不整脈や著しい高血圧の為に、当日検査出来ないことがあります。

◆動脈硬化 検査セット (頸動脈エコー検査 +血圧脈波検査)

頸動脈エコー検査による形態的異常や、血圧脈波検査による血管の硬さの測定は早期に動脈硬化を認識できる指標であり心筋梗塞や脳梗塞を予防する視点から人間ドックでは広く行われています。高血圧、糖尿病、脂質異常、内臓肥満、喫煙、メタボリックシンドローム、男性 60 歳以上、女性 65 歳以上、50 歳未満発症の心血管病の家族歴等の危険因子が有る人には両検査とも勧められています。

※予約状況により午後からになる場合もありますのでご了承ください。



一般財団法人

苫小牧保健センター

〒053-0018 苫小牧市旭町2丁目9番7号 ハスカッププラザ

代 表 ● TEL(0144)35-0001 FAX(0144)36-0074
総合健診直通 ● TEL(0144)35-0081 FAX(0144)36-0081